

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社サンドラッグ 上場取引所 東
 コード番号 9989 URL <https://www.sundrug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞方 宏司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 多田 直樹 (TEL) 042(369)6211
 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	480,778	3.5	30,006	8.1	30,681	8.7	20,725	9.1
2020年3月期第3四半期	464,378	4.4	27,768	3.0	28,215	3.0	18,994	3.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 20,860百万円(10.0%) 2020年3月期第3四半期 18,960百万円(3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	177.29	177.27
2020年3月期第3四半期	162.48	162.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	305,762	199,624	65.3
2020年3月期	284,276	186,822	65.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 199,550百万円 2020年3月期 186,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	34.00	—	34.00	68.00
2021年3月期	—	35.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	633,500	2.5	37,800	3.3	38,600	3.9	25,900	9.3	221.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	119,331,184株	2020年3月期	119,331,184株
2021年3月期3Q	2,431,213株	2020年3月期	2,431,213株
2021年3月期3Q	116,899,971株	2020年3月期3Q	116,900,015株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第1波に続く第2波・第3波と世界的な感染拡大に伴う各国の行動制限による世界景気の悪化の影響を受けるとともに、国内個人消費の下振れと企業収益や雇用環境の悪化など、極めて厳しい状況で推移いたしました。新型コロナワクチン接種開始による感染症収束への期待も高まりつつあるとは言え、新型コロナウイルスの変異株を含め感染症の更なる拡大、各国財政の圧迫のリスク等、先行きは極めて不透明な状況が続くものと思われまます。

当業界におきましては、マスク・消毒液などの新型コロナウイルス感染症予防対策商品や食料品・日用品などの巣ごもり消費需要の増加はあったものの、入国制限によるインバウンド需要消失の長期化並びに同業他社との出店競争やM&Aなど、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、お客様や従業員の安全・安心を最優先に、営業時間短縮や販促自粛及び店舗でのレジ飛沫感染予防フィルターや出入口への消毒用アルコールの設置等、本社オフィスも含め感染予防対策を徹底し営業活動を行いました。

また、引き続き「安心・信頼・便利の提供」をキーワードに、専門性を一層高め、お客様に必要なかつ期待される質の高い出店、品揃えの強化、サービスレベルの向上、食料品やECの販売強化及びプライベートブランド商品の拡充・開発、店舗改装などに取り組むとともに、店舗や物流の運営において、IT・デジタル化等活用した一層の効率化による「ローコストオペレーション」を推進いたしました。

なお、2020年4月1日付で完全子会社の㈱サンドラッグファーマシーズを吸収合併し、効率化を図りました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の店舗などの状況は、37店舗(フランチャイズ店1店舗の出店を含む)の新規出店と3店舗のスクラップ&ビルドをいたしました。また、71店舗で改装を行い、11店舗(フランチャイズ3店舗を含む)を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ全体の店舗数は、ドラッグストア事業888店舗(直営店696店舗、㈱星光堂薬局69店舗、㈱サンドラッグプラス61店舗、フランチャイズ店62店舗)、ディスカウントストア事業306店舗(ダイレックス㈱306店舗)の合計1,194店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,807億78百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益300億6百万円(同8.1%増)、経常利益306億81百万円(同8.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益207億25百万円(同9.1%増)となり、増収・増益となりました。

セグメント業績等の概要は次のとおりであります。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴ない、マスク・消毒液などの感染症予防対策商品や食料品・日用品などの巣ごもり消費需要増加などにより、郊外型店舗の売上は順調に推移したものの、駅前型特に都市部繁華街地域の店舗においては、インバウンド需要の消失、テレワークや在宅勤務などによる化粧品の売上減、外出自粛による客数減少などにより、売上高が前年同期を下回りました。経費面につきましては、折り込みチラシなどの販売促進自粛、キャッシュレス決済拡大やセミセルフレジ導入の推進など生産性向上を図り、経費削減に努めました。

なお、ドラッグストア事業の出店などの状況は、22店舗(フランチャイズ店1店舗の出店を含む)の新規出店と1店舗のスクラップ&ビルドを実施し、59店舗を改装したほか、10店舗(フランチャイズ3店舗を含む)を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、ドラッグストア事業の売上高は3,207億25百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は203億39百万円(同2.8%減)となりました。

<ディスカウントストア事業>

ディスカウントストア事業は、ドラッグストア事業同様、新型コロナウイルス感染症拡大に伴ない、マスク・消毒液などの感染症予防対策商品や巣ごもり消費需要増加などにより、食料品・生鮮食料品などが好調に推移し、売上高が前年同期を上回りました。経費面では、ドラッグストア事業同様、折り込みチラシなどの販売促進自粛、キャッシュレス決済拡大やセミセルフレジ導入の推進など店舗生産性向上による経費削減に努めました。

なお、ディスカウントストア事業の出店などの状況は、15店舗の新規出店と2店舗のスクラップ&ビルドを実施し、12店舗を改装したほか、1店舗を閉店し活性化を図りました。

以上の結果、ディスカウントストア事業の売上高は1,932億72百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は96億77百万円(同41.4%増)となり、増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ214億85百万円増加し、3,057億62百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、商品そして店舗の建物及び構築物の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86億83百万円増加し、1,061億38百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ128億1百万円増加し、1,996億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月11日に公表しました通期連結業績予想に変更ありません。

(注) 業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,699	87,433
売掛金	14,810	17,326
商品	68,843	74,398
原材料及び貯蔵品	80	122
その他	16,773	16,524
貸倒引当金	△20	△3
流動資産合計	181,187	195,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,637	43,773
その他（純額）	18,555	20,802
有形固定資産合計	58,193	64,575
無形固定資産		
のれん	30	20
その他	5,099	5,065
無形固定資産合計	5,130	5,085
投資その他の資産		
敷金及び保証金	23,483	24,496
その他	16,287	15,814
貸倒引当金	△5	△10
投資その他の資産合計	39,765	40,300
固定資産合計	103,089	109,961
資産合計	284,276	305,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,694	71,719
未払法人税等	6,677	4,319
役員賞与引当金	37	20
ポイント引当金	3,588	3,957
その他	15,419	18,860
流動負債合計	90,417	98,878
固定負債		
退職給付に係る負債	1,357	1,458
資産除去債務	3,580	3,790
その他	2,099	2,011
固定負債合計	7,036	7,259
負債合計	97,454	106,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,931	3,931
資本剰余金	7,414	7,414
利益剰余金	182,744	195,404
自己株式	△3,977	△3,977
株主資本合計	190,112	202,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	148
土地再評価差額金	△3,260	△3,260
退職給付に係る調整累計額	△127	△110
その他の包括利益累計額合計	△3,356	△3,221
新株予約権	65	73
純資産合計	186,822	199,624
負債純資産合計	284,276	305,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	464,378	480,778
売上原価	348,231	360,471
売上総利益	116,146	120,307
販売費及び一般管理費	88,378	90,300
営業利益	27,768	30,006
営業外収益		
受取利息	97	94
受取配当金	7	5
固定資産受贈益	164	298
その他	183	281
営業外収益合計	453	680
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	0	0
営業外費用合計	6	5
経常利益	28,215	30,681
特別利益		
固定資産売却益	18	119
受取保険金	—	36
違約金収入	0	5
受取和解金	40	9
その他	0	10
特別利益合計	59	181
特別損失		
減損損失	52	19
固定資産除却損	81	19
災害による損失	25	28
新型コロナウイルス関連損失	—	581
賃貸借契約解約損	53	108
その他	20	28
特別損失合計	232	786
税金等調整前四半期純利益	28,041	30,076
法人税等	9,047	9,350
四半期純利益	18,994	20,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,994	20,725

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	18,994	20,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	117
退職給付に係る調整額	13	16
その他の包括利益合計	△33	134
四半期包括利益	18,960	20,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,960	20,860
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※新型コロナウイルス対応による損失

政府及び各自治体からの緊急事態宣言や営業自粛要請を受けたこと等による、新型コロナウイルス感染症拡大防止取組みのなかで当社グループにおいて発生した第1四半期における店舗の臨時休業等の損失額を特別損失に計上しております。その内訳は次の通りであります。

店舗に係る固定費（賃料）	432百万円
従業員給与及び手当（特別支援金）	126百万円
<u>感染防止対策費用</u>	<u>22百万円</u>
計	581百万円

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	292,003	172,374	464,378	—	464,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,878	10	29,889	△29,889	—
計	321,882	172,385	494,267	△29,889	464,378
セグメント利益	20,927	6,841	27,769	△0	27,768

(注)1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ドラッグストア 事業	ディスカウント ストア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	287,517	193,261	480,778	—	480,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,208	11	33,220	△33,220	—
計	320,725	193,272	513,998	△33,220	480,778
セグメント利益	20,339	9,677	30,016	△10	30,006

(注)1. セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。